

わたしの夢

川俣小学校6年

高木

健成 けんせい

世界で活躍する選手を指導する フェンシングのコーチになる



わたしの夢は、川俣町フェンシングスポーツ少年団のコーチになってこの町からオリンピックなどの世界の舞台で活躍できる選手を輩出することです。私がコーチになりたいと思っただきっかけは、現在、スポーツ少年団ではコーチが少なく、私自身小学校1年生の時に入団してからたくさんの人にお世話になったからです。また、このチームのために何かできないかと考え、コーチになりたいと思うようになりました。また福島県からはフェンシングで活躍している選手が少ないので川俣町からそういった選手が生まれたらいいなと思います。最近、コーチになるために下級生に教えるときに自分の知識のほかに、コーチから教わったことを自分も復習するように心掛けています。母にフェンシングのコーチになりたいということをお話すと「人に教えるには自分も強くないといけないよ」と言っていたので中学、高校と全国大会などで結果を残せるようにこれからも練習に励みたいと思います。

町長のひとこと vol.33



いきいき荘の駐車場で開かれているという「野菜市場」の知らせを聞き、早速行ってきました。8時30分開始と聞き少し早めに会場に行ったのですが、野菜をたくさん積んだ軽トラの周りでは、たくさんの人達が品定めをしながら開店時間を待っていました。開店すると農家の方から野菜の美味しい食べ方を聞きながら楽しく購入しているようでした。野菜は新鮮な物ばかりで、白菜や大根、カブなどの季節の野菜のほか、大豆や小豆などおせち料理用の野菜もあり、開店から30分ほどでほとんどの野菜が完売していました。いきいき荘の「野菜市場」は、高齢でも元気に野菜を作っている生産者と消費者との繋がりを作ることが目的で始めて3年目のことですが、これからも両者が想い合い、協力し合える関係が続くことが、高齢化が進むこの町で大事なことであり、さらなる発展に繋がると考えます。